**令和7年
第9回那須塩原市教育委員会
定例会 会議録**

那須塩原市教育委員会

期日：令和7（2025）年8月29日（金）
会場：西那須野庁舎3階 304会議室

那須塩原市教育委員会定例会

1 期日

- 令和7（2025）年8月29日（金）
 - ・開会：午後3時00分
 - ・閉会：午後5時00分

2 会場

- 西那須野庁舎 3階 304会議室

3 出席委員

- 教育長 月井 祐二
- 委員 白井 祥朗
- 委員 神島 仁誓
- 委員 大澤 真弓
- 委員 田村 伸之
- 委員 君島 知美

※会議録署名委員

第8回教育委員会定例会 神島 仁誓 委員、大澤 真弓 委員

4 説明のため出席した事務局職員

- 教育部長 田代 宰士
- 教育総務課長 宇賀神 晶子
- 学校教育課長 大藏 裕
- 生涯学習課長 伊藤 隆
- スポーツ振興課長 東泉 秀幸

5 事務局職員

- 教育総務課長補佐 小池 雅之
- 学校教育課副参事 金子 章
- 学校教育課長補佐兼学校支援教職員係長 高野 幸大
- 生涯学習課長補佐兼青少年係長 伊藤 俊彦
- スポーツ振興課長補佐兼スポーツ振興係長 関谷 和俊

6 傍聴人

- なし

7 教育長報告

- 非公開

8 付議事件

区分	案件名	担当課
議案第39号	令和7年度9月補正予算（教育費関連）の概要について	教育部
議案第40号	那須塩原市体育施設条例等の一部改正について	スポーツ振興課
議案第41号	那須塩原市ホースガーデン条例の廃止について	スポーツ振興課
議案第42号	那須塩原市奨学生募集要項について	教育総務課
議案第43号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	教育総務課
報告第26号	那須塩原市生涯学習推進市民会議委員の委嘱について	生涯学習課
報告第27号	区域外就学及び指定校変更について	学校教育課
報告第28号	令和7年度準要保護児童生徒の認定について	学校教育課

以上

■会議録

1 開会

午後3時00分、月井教育長が那須塩原市教育委員会会議規則第7条の規定に基づき、令和7年第9回那須塩原市教育委員会定例会の開会を宣言。

2 教育長挨拶

先週土曜日の23日は、二十四節気の「処暑」でありました。文字通り「暑さの収まる頃」になるはずなのですが、ご案内のように依然として猛暑の日々が続いております。新聞報道によりますと、今年の夏は、県内の6地点で猛暑日の数が過去最高を記録したとのことであります。去る7月29日に黒磯で記録された35.5℃は、黒磯の観測値としては史上最高気温でありました。まだ、今週末も40℃に迫る猛暑の予報が出ておりますので、委員の皆様方もご自愛いただければと思います。

そのような中、本市では一昨日の27日から学校が再開されております。今日で3日目となりますが、今のところ夏休み中の大きな事件・事故等の報告もなく、子どもたちは元気な姿で学校へ戻ってきてくれました。各校には、今後も熱中症対策に万全を期すよう連絡を入れるとともに、子どもたち一人一人の表情や雰囲気等に目を配ってほしいと指示しております。夏休みが終わるこのタイミングは、子どもたちにとっては生活のリズムが変わることなどへの不安が大きくなる時期でもあります。子どもたちの小さな変化も見逃さずに寄り添える体制をとるようお願いをしているところでもあります。

夏休みが明けますと、すぐにスポーツ面・文化面での様々なイベントが目白押しの充実の秋へと進んで参ります。どうか、委員の皆様方におかれましても、子どもたちの頑張る姿にエールを送っていただければ幸いです。よろしく願いいたします。

さて、本日は、「令和7年度9月補正予算の概要について」を含め議案が5件、報告案件が3件ございます。委員の皆様には、慎重かつスムーズな審議をお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 会議録の承認

月井教育長が令和7年第8回定例会の会議録の承認を求め、内容に異議なく、神島委員及び大澤委員が会議録に署名を行った。

4 教育長報告

教育長報告については、特定の個人に関する情報が含まれているため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定に基づき、非公開とすることが全会一致で承認された。

(内容非公開)

5 付議事件

<議案第39号>

■説明 教育部長

【提案理由】

本案は、令和7年度那須塩原市一般会計補正予算（第6号）を令和7年9月那須塩原市議会定例会議に上程するに当たり、その教育予算について教育委員会の意見を求めるもの。

－資料に基づき議案の内容を説明－

■質疑等

○ 大澤委員

三島中学校の工事が延期となったのは市側の原因ではなく、国の事情によるものでしょうか。また、ゆめみらい応援給付金が1名分増額されるということですがどういった経緯があったのでしょうか。

○ 教育総務課長

まず、三島中の工事が延期になったのは、国の補助金が付かなかったためです。国はおそらく空調設備整備の交付金に予算を注ぎ込む方針としているようで、長寿命化の交付金は、今回県内では1校も採択されませんでした。三島中の改修工事計画自体はやめませんので、交付金の申請は引き続き行ってまいります。

す。

また、ゆめみらい給付金の増額についてですが、原資を寄附してくれている篤志家の方と何度かお会いした中で、県内にはどういった高校があり、那須塩原市の子どもたちがどういった高校に行って、さらにどういった大学に行っているのかといった情報をお伝えしたり、那須町と比べて子どもの絶対数が多く、進学校に通う子も多いという実態をお示したところ、1名分の増額につながったものです。今年度の募集では合計で3名採用できることとなります。

○ **田村委員**

学校給食の運営費の増額について、物価高対応による食材費の増額ということですが、黒磯、共英、西那須野に比べると、塩原小中の増額分が7万2千円となっており、小規模校だとはいえずいぶん桁が違ってきます。増額分の算出方法が他の調理場と違うものなののでしょうか。

○ **教育総務課長**

いずれの調理場も自校方式の塩原も1人当たり10円の値上げで計算しております。塩原小中は教職員等を全部合わせても67人分ということで、増額分も少なくなっておりますが、算出方法が違うわけではありません。

○ **田村委員**

特に塩原は地場産の食材が安く買えているからといった理由ではなく、どこも一律に1人10円分の増額ということですね。

○ **月井教育長**

塩原のみ自校方式で、人数も少ない。

○ **田村委員**

わかりました。

■ **議決**

議案第39号については原案のとおり可決。

< **議案第40号** >

■ **説明** スポーツ振興課長

【提案理由】

本案は、所管する体育施設の指定管理者による管理について、使用料を指定管理者の収入として収受させる利用料金制を導入するため、那須塩原市体育施設条例、那須塩原市B & G海洋センター条例及び那須塩原市都市公園条例の改正を併せて行うもので、那須塩原市体育施設条例等の一部改正についてを令和7年9月那須塩原市議会定例会議に上程するに当たり、教育委員会の意見を求めるもの。

－資料に基づき議案の内容を説明－

■ 質疑等

○ 大澤委員

利用料が指定管理者の収入になるというところがこれまでと大きく変わる点だと思いますが、お金の流れがどう変わるのかをもう少しわかりやすく説明してもらえますか。

○ スポーツ振興課長

現在、体育施設の使用料は、利用者が払ったものが市の一般会計の収入として入ってきます。来年度以降、利用料金制になりますと、利用者が払う使用料は全て指定管理者の収入として入ることになりますので、指定管理者が頑張ると利用者が増えると、指定管理者の収入も増えることになります。

○ 大澤委員

委託料は変わらないまま、収入のみが指定管理者に行くことになるということですか。

○ スポーツ振興課長

今は、収入はあくまでも市に入ってきて、それとは別に運営に必要な額を委託料として払っています。

○ 月井教育長

例えば、100万円で委託している施設があるとして、今だと使用料の収入が100万円でも150万円でも50万円でも、委託業者としてはいくら収入があっても支払われる委託料には関係ないということですね。

○ スポーツ振興課長

そうです。

○ 月井教育長

来年度は、委託料はどうなりますか。

○ **スポーツ振興課長**

当然、利用料として入るべき分は、指定管理料から差し引きます。

○ **月井教育長**

そうですね。ですから、それが100万円分だとすれば、150万円の収入が得られれば、指定管理者は50万円得するということですね。

○ **スポーツ振興課長**

そうです。

○ **月井教育長**

75万円しか収入がなかったらどうなりますか。

○ **スポーツ振興課長**

指定管理料は基本的に変わりませんが、ある程度の金額を決めて、あまりにも収入が少なく、営業・運営に支障がある場合は、そこを補填することもあります。

○ **月井教育長**

利用者をたくさん集めて収入をたくさん得れば、指定管理料を超えた分は業者の利益になるから、頑張って運営をするようになるというイメージですね。

○ **スポーツ振興課長**

はい。

○ **田村委員**

そうすると運営会社は全然損はしないということですか。委託料で運営するわけですね。

○ **月井教育長**

今も損はしないですね。お客さんが全然来なくても、いっぱい来ても、決まった金額を市からもらって運営しているので損はしないです。さらに今後は、人がたくさん利用した分の収入はもらえますから頑張って運営してくださいということですね。

○ **スポーツ振興課長**

はい。

○ **白井委員**

実は、今日、来年度の入札に向けて、塩原温泉観光協会のもの語り館の指定

管理の会議に出てきたところでして、今までの指定管理の料金があるんですけど、だいたい入場料が年間これくらいだった、例えば、天皇の間記念公園だと約200万円、年間のチケット代として入るので、その分が指定管理料から削られるというふうになります。200万円以上頑張れば、その分は入りますけど、頑張らないと、150万円しか利用料が入らないと逆に50万円損してしまうということで、よりお客さんを入れようと指定管理者も頑張るという仕組みです。

○ **大澤委員**

利用料金というのは、この前改定したばかりですが、指定管理者が勝手に変えることはできないわけですよ。

○ **スポーツ振興課長**

条例で上限は決まっていますが、協議してそれを低くすることはできません。例えば、体育館では平日の日中の午後などは利用が少ないです。そういう時間帯の利用料を少なくすることで、安いから使おうというお客さんがいれば、今までゼロだったところへ少しでも利用料が入ってくるという、そういったことはできる仕組みになっています。

○ **大澤委員**

わかりました。

○ **月井教育長**

料金を高く設定することはできないということですか。

○ **スポーツ振興課長**

高くはできません。

○ **神島委員**

委託業者が頑張るといのは、そういうところでいろいろと考えていくということですか。

○ **スポーツ振興課長**

そういうところもありますし、自主事業といいまして、指定管理者がマラソン大会ですとかエアロビクス教室ですとか、そういったことでお客さんを集めて、参加費なんかを徴収して収入を得ることもできますので、そういった工夫もあります。

○ **神島委員**

指定管理者が主催する事業ということですね。

○ **スポーツ振興課長**

はい。

○ **大澤委員**

昨年度あたりマラソン大会がありましたよね。

○ **月井教育長**

市が、教育委員会が、スポーツ振興課が主催するというのではなく、指定管理者が自分たちでやるという形を、これから官から民へ移していくという流れの中でさらに進めていきたい。そうやって指定管理者が自主事業で儲けたものも収入として得られるということです。

○ **君島委員**

金銭に関わることではないですけど、私も結構体育館を利用させていただいて、今の指定管理者さんの対応はすごく良いなと感じています。すごく丁寧だし、親切だし、使っていてこちらも心地よいなと以前から感じていましたので、御報告します。

○ **スポーツ振興課長**

これでまた利用料金制を導入すればさらに良くなると思います。

■ **議決**

議案第40号については原案のとおり可決。

< **議案第41号** >

■ **説明** **スポーツ振興課長**

【提案理由】

本案は、令和7年度をもって那須塩原市ホースガーデンを廃止することに伴い、那須塩原市ホースガーデン条例の廃止についてを令和7年9月那須塩原市議会定例会議に上程するに当たり、教育委員会の意見を求めるもの。

－資料に基づき議案の内容を説明－

■ **質疑等**

なし

■ 議決

議案第41号については原案のとおり可決。

< 議案第42号 >

■ 説明 教育総務課長

【提案理由】

本案は、那須塩原市奨学生の募集に必要な事項について、奨学生選考委員会の意見を踏まえ、別冊のとおり募集要項を作成するもので、教育委員会の議決を求めるもの。

－資料に基づき議案の内容を説明－

■ 質疑等

○ 神島委員

8月6日に、こちらで第1回の選考委員会が行われたので、君島委員とともに出席いたしました。いろいろ工夫されていて、募集要項などもわかりやすいように分冊されていたり、また、一昨年は応募者が極めて少なくて募集期間を延長したことがありましたがそれも改善されているようです。また、周知の方法もポスターなど事務局で工夫してやっていくとの話もあり、ずいぶんと良くなってきたと思えました。

ただ、高校の校長先生から、推薦するに当たって高校の先生が書く様式が二度手間になるので調査書で済ませられないかという話がありましたけれども、成績の部分はいいとしても、本市の奨学生として推薦するという部分はやはり書いてもらわないと、担任の先生の手間はかかってもそれは必要かなと思えました。

○ 君島委員

制度の周知のところで、教育委員会のインスタグラムでお知らせいただくといかなと思うのと、会議の時も意見として申し上げましたが、オンラインで面接を行うことが今年も予想されますが、昨年なかなかオンラインが繋がらないことがあったので、たぶん通信テストをやっているとは思いますが、もうつなげて待っているくらいの通信チェックはしてあげるといいのかなと思えました。

○ 月井教育長

選考委員のお二人には大変お世話になります。かなりブラッシュアップされてきているというお話をいただきまして、大変ありがたく思っております。

○ 大澤委員

私は、書類作成が高校の先生の負担になっている部分も確かにあるだろうなと思っていたところへ、先ほど神島委員からのお話がありましたので、神島委員のおっしゃることもそのとおりかなと思う一方で、せっかく御意見をいただいたということもありますし、その点は今後改善する、推薦する様式だけ別途新たに作成する形とか、いろいろ検討していただいて、学校側の負担が減らせるのであれば、事務局のほうでお骨折りいただき改善していけたらいいのかなと思いました。

○ 月井教育長

高校の先生がおっしゃるのもわかるし、神島委員のお話もとてもよくわかります。調査書で成績のところクリアできれば、あとは推薦文のところをどういうふうに書いていただくかということも含めて、本市の所定の書式を工夫していくのが一つ考えられることでしょうか。

○ 神島委員

調査書の人物評というのは一般的なことを書くわけですよ。部活動は何をやっていたとか。ただ本市の場合は、推薦に当たってはこういうところが推薦に値する人物だということを書いてほしいわけなので、そうすると調査書では十分でないというか、そこは書いてほしいと思ったところです。

○ 田村委員

その調査書とか人物評とかの作成をA Iでやるといった可能性も今後はありますかね。

○ 月井教育長

高校の先生がA Iに作らせるということですか。それはおそらくないと思っております。私の知る限りでは、A Iが進化しても教員という職業はなくなると聞いたことがあります。正直これもわかりません。その委員会の中では、本市として、選考委員の皆さんとして知りたい内容が高校から出される書類にきちんと入るような形に何か改善できればという話し合いがされたということですか。

○ **神島委員**

そうですね。検討はしますということでした。

○ **月井教育長**

検討はするということですね。

○ **教育総務課長**

はい。奨学金の申請をする、推薦をするためだけの特記事項の欄なので、書類でいうとほんの3センチメートルのスペースではありますが、それでも書く側にとってはきっと大変なのだと思いますので。

○ **月井教育長**

そういう御意見も含めながら今後検討していくということで御理解ください。

■ **議決**

議案第42号については原案のとおり可決。

< **議案第43号** >

■ **説明 教育総務課長**

【提案理由】

本案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関して作成した別冊の報告書を令和7年9月那須塩原市議会定例会議に報告するに当たり、教育委員会の議決を求めるもの。

－資料に基づき議案の内容を説明－

■ **質疑等**

○ **大澤委員**

この点検・評価は、毎年興味深く拝見しておりますし、また改めて事業の振り返りとして、教育委員の立場からも非常に勉強になるものだと思っております。今回も見せていただいて、点検・評価自体は素晴らしいものに仕上がっていると思いました。そして、とても見やすいレイアウトになっていて、すごく理解もしやすかったです。それで、点検・評価からは逸れてしまうかもしれませんが、2

点ほどお聞きしたいことがあります。

奨学資金のところで、貸与型の返還遅延者への対応方法の確立が課題ということが書かれておりました。奨学金滞納整理マニュアルを作るのが良いのではないかという委員さんからの意見があった中で、今現在はそれが無いということで間違いがないのか、もしあるとすればどれくらいの進捗状況となっているのかを伺いたいのが一点です。

もう一つは、老朽した電子黒板を更新するという事業がありましたけれども、導入する機器と事業者の選定を行ったという件につきまして、少し詳しくお聞かせください。

○ 教育総務課長

こちらの滞納整理マニュアルですが、結論から言いますと鋭意作成中で現在まだ整っておりません。これに関しては、先日の決算審査の中でも監査委員さんからマニュアルを整備した上で徴収に尽力するよう指摘を受けましたので、現在作成しており、今年度中に整える予定です。

○ 学校教育課長

電子黒板の選定ですが、プロポーザルという形で、こちらが希望する条件を提示して、そこに手を挙げていただいた事業者の中から選定しました。選定は我々市役所のメンバーに加え、現場の校長先生やICT運用委員会という現場の先生方による組織から代表者を入れて行いました。実際に事業者に来てもらい、使い方とか機能を見せてもらいながら評価をしました。なお、電子黒板につきましては、この夏休みに全校、全学級に入ったところです。今この会議室にあるのが旧型のものでして、今まで各学校にあったものを夏休みに全校引き上げて、これよりさらに10インチ大きい75インチ版のもので、スペックも非常にハイスペックのものが各学校に入っております。

○ 白井委員

私は、点検・評価が始まった時から、紙ベース時からずっと報告書をとってあって、見比べたりもしております。点検・評価委員の先生方は、中村先生、伊藤先生、久留生先生ともに見識の高い方々ですので、各課の課題について細かいところまで丁寧に御指摘、御指導いただいていると思っておりました。点検・評価は教育委員会の通信簿だと思いますので、概ね及第点をいただいているのかなと感じました。先生方のまとめを見ると、長く委員をやられているからかもしれませ

んが、中村先生の言葉が「委員会や所管課や事務局の協働作業で報告書という共創作品ができあがる」とか、「改善に向けて知恵を絞るのが時代の趨勢となっている」とか、以前より難しい表現をされているなど思うんですけれども、毎年委員をやらせていて那須塩原市の教育をよく理解していただいているからこそなのだろうと思いました。

一点だけ感じたのが、スポーツのところで、生涯スポーツの中の障害者スポーツが取り上げられていましたので良かったなと思いました。何年か前にも言ったことがあるのですが、那須塩原市の教育基本計画の中を見ますと、障害者の方に対する教育とか文化面、スポーツ、芸術、地域活動は非常にウエイトが少ないと前から思っておりましたので、そういった中で障害者の方のスポーツなんかは代表的なものですから、それをまた点検・評価の中で取り上げたというのは意義があるものと思います。その当時の課長補佐に言ったことですが、役所の中では言葉は決まっているので仕方ないですが、民間では障害者の害の文字がよろしくないということで、害の字は使わず平仮名で書いたりしているところもあるので、内部のものはいいとしても外向きに出すものはそれを目にする障害者のことも思えば、教育委員会は率先してこの害の字を使わないほうがいいのではないかと申し上げたことがありましたので、ちょっとそこは気になりました。

あとは、点検・評価をいただいて、いろいろと課題や問題は提起されているんですけれども、その年その年で終わってしまって、それが次の年以降どうなったというのがなかなか見えてこないところがあります。それをやると事業量が多くなってしまふことは承知しておりますが、そういった後追いなんかがあると本当はいいのかなと思いました。

○ 神島委員

大変すばらしい内容で、毎年見させていただいておりますけれども、問題点がよく指摘されていて、さらにそれに対する評価もすばらしいものがあって、大変良いことだなと思っております。特に、細かいことですが、学校環境を整備するというところで、一部フェンスが未整備のところがあると指摘されています。私たちも学校訪問で見ることがありますが比較的整備されている学校ばかり見ていけるせいか、整備されていないところもあるのかなとふと感じました。未整備の学校はどれくらいあるのでしょうか。だいたいは囲ってあると思いますが。

○ 教育総務課長

学校によって一部開いてるところがあるくらいで、全く整備されていない学校はないはずです。

○ 神島委員

わかりました。

■ 議決

議案第43号については原案のとおり可決。

<報告第26号>

■ 説明 生涯学習課長

【提案理由】

本件は、那須塩原市生涯学習推進市民会議設置要綱第2条の規定に基づき、生涯学習推進市民会議の委員を委嘱し、教育委員会に報告するもの。

－資料に基づき報告事項の内容を説明－

■ 質疑等

なし

<報告第27号、第28号>

■ 説明 学校教育課長 ※関連があるためまとめて説明を実施

【報告理由】

本件は、申請のあった区域外就学及び指定校変更について、審査結果を教育委員会に報告するもの。

また、生活保護法第6条第2項に規定する要保護者に準ずる程度に困窮している者から提出された準要保護認定の申請について、内容を審査した結果、準要保護者に認定することに決定したので、教育委員会に報告するもの。

－資料に基づき報告事項の内容を説明－

■ 質疑

なし

6 その他

<教職員の盗撮事件を受けた調査について>

<スクールバスの対象エリアの見直しについて>

略

7 閉会

午後5時00分、予定していた付議事件については、全て終了したため、月井教育長が令和7年第9回教育委員会定例会の閉会を宣言。

以上